

他のソフトとの連携

DXF出力

RIKCADで作図した平面図・立面図を、DXF形式のファイルで保存することができます。

【準備】

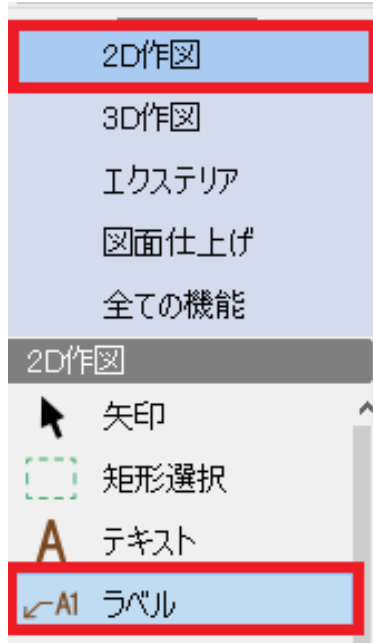
まず、平面図上等に「引き出し線（ラベルツール）」を配置している場合は、以下の操作を実施します。

「引き出し線」（ラベルツール）」を配置していない場合、この手順は無視し、以下の【保存操作】まで進んで下さい

【ワンポイント】

引き出し線（ラベル）を配置した状態で、そのままDXF保存した場合、他のCAD側で引出し線が正常に表示されない場合があります

- ・画面左側、ツールボックスの「2D作図」を選択し、[ラベル]を選択します。



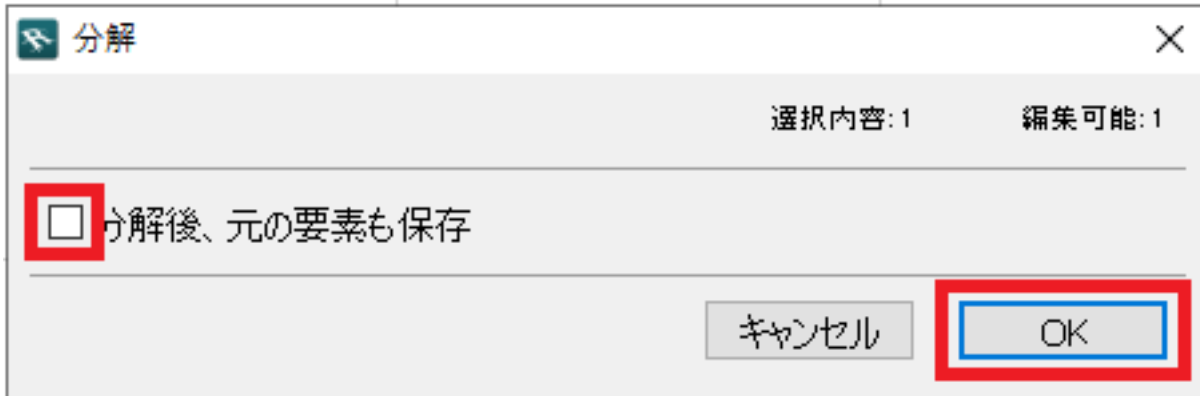
- ・画面上部、メニューバーの「編集」> [ラベルをすべて選択]を選択することで、図面上のラベルが全て選択状態になります。

- ・図面上のラベルだけが全て選択状態になっているのを確認し、メニューバーの「加工」>「分解」をクリックします。

【RIKCAD9/RIKCAD8】

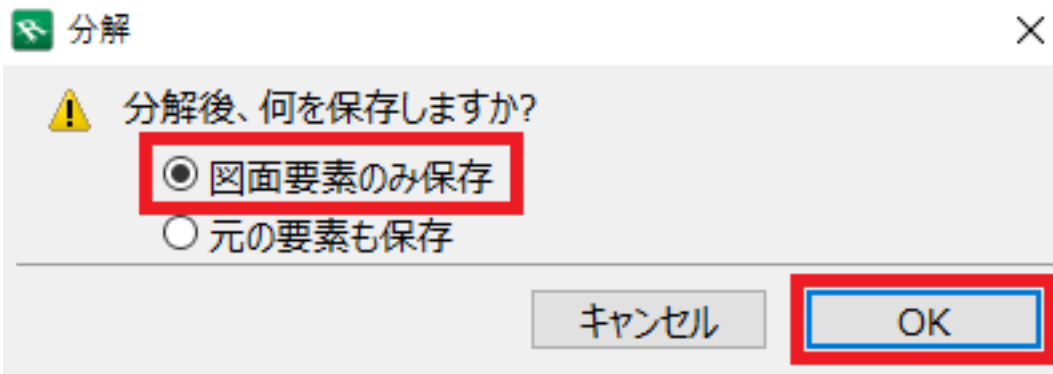
- ・「分解後、元の要素も保存」のチェックを外し、「OK」ボタン

他のソフトとの連携



【RIKCAD7以下】

- ・「図面の要素のみを保存」を選択し、「OK」ボタン



分解の操作をする際、必ず、図面上のラベルだけが選択されている状態で、分解を行ってください。
仮に、スラブ等、作図済みの全てが選択状態のまま、「分解」を実行してしまうと、全ての物が、「テキスト」と「線」の2Dデータに変換され、3D画面に何も表示されなくなります。
この状態で保存すると、3Dデータを復元できなくなりますので、十分ご注意ください。

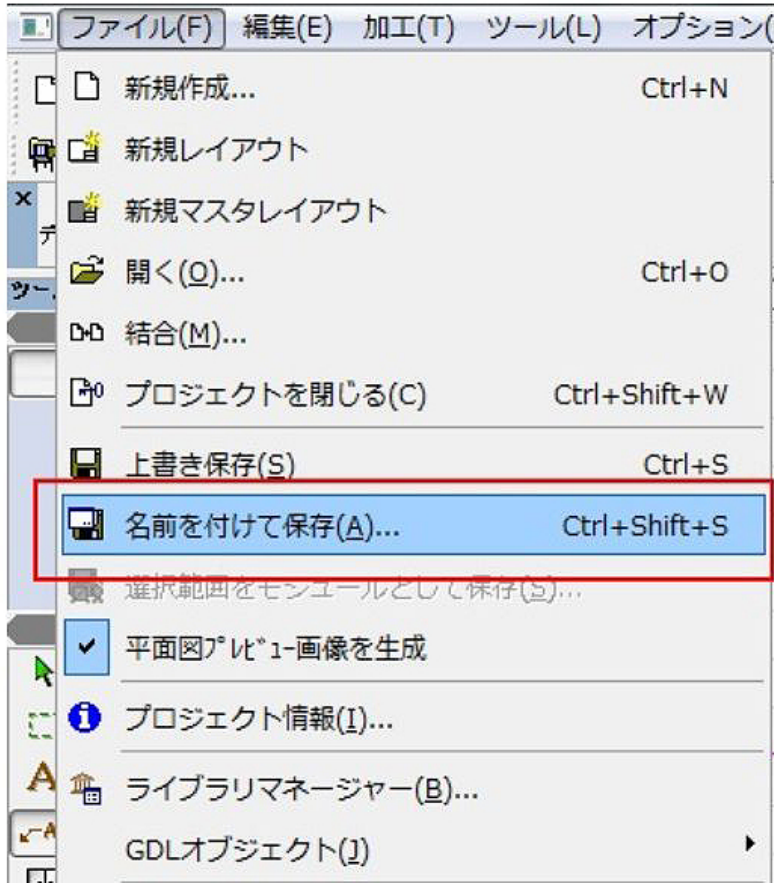
誤って、分解をしてしまった場合、画面左上の「元に戻る」ボタンで分解前の状態に戻り、操作をやり直して下さい。

- ・選択された引き出し線が分解され、「テキスト」と「線」の状態になります。
以下の【保存操作】へ進みます

【保存操作】

- ・画面上部、メニューバーより「ファイル」>「名前を付けて保存」をクリック

他のソフトとの連携

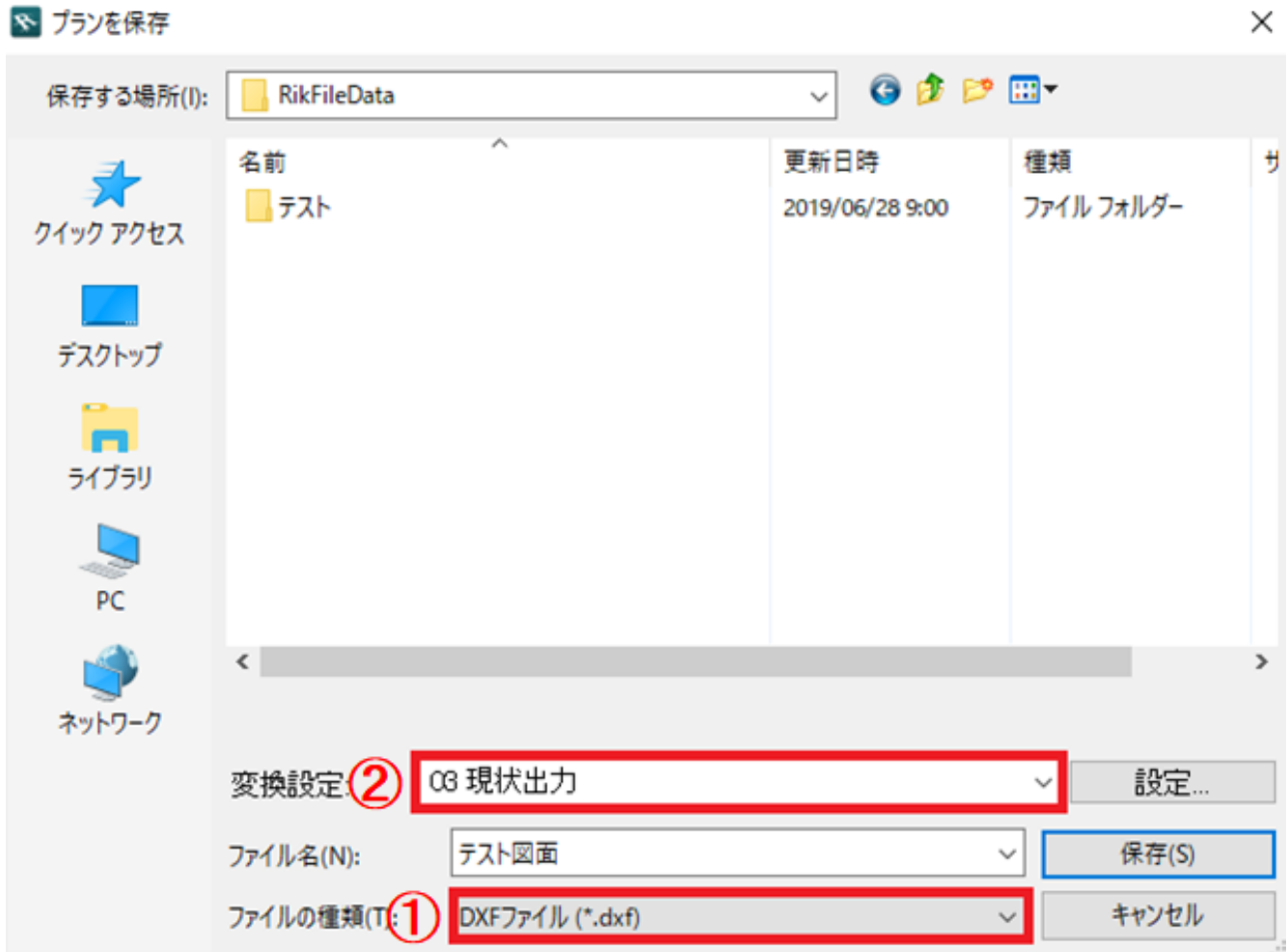


- ・以下の様に、各項目を変更します

「ファイルの種類」は「DXFファイル(*.dxf)」を選択

「変換設定」は「03 現状出力」を選択

他のソフトとの連携



- ・「保存」を押す事で、DXF形式のファイルが作成されます。

【注意】

ラベルを分解した状態で、そのままプランデータを上書き保存してしまった場合は、ラベルがテキストと線のままで保存されてしまう為、ご注意ください。

DXFファイルを保存した

後、プランデータを上書き保存する場合は、画面左上「元に戻る」ボタンを押し、ラベルを分解前の状態に戻し、プランデータの保存操作を行って下さい

一意的なソリューション ID: #1262

製作者: 亀田

最終更新: 2019-07-05 17:21